

いきいき萌丘ささき重信通信

発行：萌丘幼稚園 萌丘東幼稚園 萌丘東保育園 いきいき萌丘東ノ郷 市議 ささき重信（電話 82—1255）

私の公約

市の発展は建物ではありません、子ども達に市民に投資することです。

＜建物建設よりも生活・教育への支援を行います。＞

●お年寄りに、1人2万円の生活支援。（4年前のコロナハンデミックのときは、先進地の市で、市民1人に5万円を支給していました。今コロナは落ち着きましたが、お年寄りの努力があって今日がありますので、より良い市政発展に尽力頂きたく生活支援をいたします。必ず、市内のお店にて消費して頂ければ幸いです。）

●保育園、幼稚園、小学校、中学校に、1人3万円の教育支援。（東京都は高校生にだって、1人に月々5,000円の給付です。教育こそ大切であるとの小池都政の教育支援です。東京都に真似する訳ではありませんが、東京よりも真岡が素敵ですと云える街にしようと、故郷真岡に戻って来た私ですので、必ず実行いたします。）

財源は、イチゴサミットがコロナで流れてしまいましたが、このときの総予算が3億円でありました。掛け声だけの広告やイベントの一過性事業で、市の継続的発展になっておりません。私であれば、これだけの予算があれば、職員を有効に使って、子ども達に夢と希望を与え、お年寄りにはお礼の志をあげて、有効に使って頂きます。やる気になれば、市長は、あらゆる能力を使って出来るのです。私は、必ず実行いたします。

- 子ども達の未来につながる市政実現（子ども達の教育に投資し安心を与えます）
- 子ども達や市民のための市政（市政は市長のためではありません市民のためです）
- 必ず後継者をつくります（1期4年間に必ずつくります）
- 副市長は職員から抜擢します（能力ある職員がいるはずです）
- 女性の積極的登用（部課長の50%は女性にしたいです）
- 旧図書館の建物有効活用（貴重な建物を保存し学生、市民に開放します）
- プラネタリウムの有効活用（壊すのはもったいない、理科教育に活かします）
- 文化・歴史に誇りを培います（文化、歴史に誇りをもてない街は衰退します）
- 二宮地区にインターチェンジ（スマートインターでも、1日でも早く実現です）
- 優良企業の誘致（プロジェクトチームを組んで安定した優良企業を誘致します）
- 財政の見直し（建物つくれば維持費が嵩みます、無駄をなくし健全財政へ軌道修正します）
- 市政の正常化（石坂体制をチェンジすれば、市政は正常化します）
- 水道料金の見直し（水道料金が高いと云われるので、調査して見直します）
- 真岡のシンボル創り（夢と希望の詰まった真岡のシンボルをつくります）
- 地元業者優先（寄付金などもらわず地元業者を育てます。大手でなくも技術を持っています、育てます）
- 弱いものへの優しい行政（市長に寄り添うのではなく市民に寄り添う行政をする）

私も完璧ではありませんが、行き過ぎた報道や虐めに屈せず、果敢に逆境を乗り越えて、市政に自由とやる気の風を送り込み、子ども達ため市民のために、全国最年長の市長になって、自然溢れ産物豊かな誇れる市民優先の真岡市を創ります。

（約束）石坂市政をチェンジし石坂の流れにストップかけなければ、真岡の未来がありません。そのため、子ども達のため市民のため、頑張る決意に至った次第です。

長いこと教育と政治に関わって参り、責任を感じてお世話になりました皆さんに、尽力いたす思いで心を決めました。ゆえに、元気である限り最後まで頑張ります。

歩み

真岡市長田に生まれ、長田分校中村小、中村中、真岡高校、宇都宮大学を経て、農林省本庁勤務が社会人第1歩でした。そのときの若き情熱が真岡市に戻ってふるさとに捧げることを決意させ、その信念一途に歩いて来まして、幼稚園、保育園、老人ホームをつくって、市議、県議にさせて頂き、感謝の中で経験を生かし、市長になってより良い真岡市にしたいと挑んだ市長選でしたが、貴重なご支援にも拘わらず一歩およばず、今市議として頑張っているところです。

思い

本庁勤務を通し教育と政治の大切さを痛感し、首都東京よりも宇都宮よりも真岡市を良くしたいとの思いで、役所を辞めて真岡市に戻って来たのです。その真岡市を宇都宮よりも東京よりも良くしたいとの思いが私の真髓であり信念でありました。その思いで、真岡市をすみずみ歩かして頂き、地域を人を知ることが原点であるとの思いで、地方政治にかけて参りました。本当に夢のようです。

市民

皆さんは、政治を如何思っておりますか。誰がやっても変わらない、政治家はいいこと綺麗ごとと言っているが、裏金を頂いたり請負業者からキックバックを受けたり、信用できませんと政治を見ているかも知れませんが、見ているだけでは是正できません。政治に関わって政治にもの申さなければ良くなりません。最も直すことが出来るのは、市長をチェンジすることです。市民の皆さん、政治は特別の世界だと思わずに政治に参加して、真岡の市政を良くしようではありませんか、必ず良くなります。

如何

市民の皆さん、如何でしょう、参加すれば変えられるのです。4年前の市長選ですが、もし私が当選していれば、約45億円の図書館等の市庁舎前の建物は作られておりません。街をうるおすイチゴやトマトや花などの直売所が出来ていました。建設されてしまった以上、有効な施設にしなければなりません。大変であろうと思いますが、やりぬく職員が出てくれること信じ願っております。とにかく、政治は大切です。特に、子ども達の未来にかかわって行くのです。

喜び

聞いてくれない、受けてくれない。そんな声が聞こえ、請負や納入業者は良い思いしておりますが、一般市民にも、喜び受けられるように門戸広げて、ちょっとしたことでも聞き入れる優しい行政にすることです。市長が偉いと思っているようでは、利権者にばかり喜ばれてしまいます。言葉少ない弱い人にも、みんな平等で還元される喜ばれる役所にしなければなりません。

誇り

いちご、メロン、とまと、お花、お米等々、そして広い平地や八溝の山なみ、災害が少ないです。首都東京から100キロ圏内の恵まれた立地条件、専修寺、仏生寺、二宮尊徳神社等の歴史や文化に誇れるものが沢山あります。そんな数々の良さと誇りある真岡市を発信いたして参ります。

お世話になりました多くの市民の皆さんに、恩返し出来る喜びと嬉しさで一杯あります。そのように、感謝とお礼を申し上げる事の出来る現実が来てくれれば、本懐であります。そんな日が来られ、誇れる真岡市の到来を信じております。

市民の皆さん、政治不信を持っているかも知れませんが、良くも悪くなるのも政治によります。市政に関わって下さい。皆さんの参加こそ、子ども達に夢と希望を与えます。働き盛りの皆さんには喜びをつくります。お年寄りには安心であります。

以上、みんなの真岡市の誕生を強くつよく願っております。

佐々木重信